

# 亀中Village (美礼時)

## No.6

亀川中学校だより  
海南市立亀川中学校  
海南市且来990

TEL(073) 482-3529

HP <http://www.kame-chu.kainan.ed.jp/>

発行 平成30年9月20日

## 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、正義と公正を重んじ、主体的に考え行動できる生徒を育成する。

あ：安全・安心な学校

い：勢いのある学校

う：美しい学校

え：英知を磨く学校

お：親が通わせたい学校



“亀中一心”

## 第22回 体育祭 “想” ～ おもいを繋げ、最後に輝く僕らの笑顔 ～

このところ次々と起こる災害に、少し前の被害さえ過去の出来事となっています。6月の大阪府北部地震や7月の西日本豪雨など、もはや忘れられかけているのではないのでしょうか。それほどまでに、8月下旬、9月初旬と連続して上陸した台風20号、21号は、本県にも甚大な被害をもたらしました。とりわけ21号は一部で「第3室戸台風」とも言われるほどで、その暴風雨には恐怖を感じました。亀川地区でも数日間ライフラインがストップし、ようやく平静を取り戻しつつあるところです。9月1日は昔から210日（立春から数えて210日目）と呼ばれ、この時季は稲が開花・結実する大事な時ですが、台風が相次いで襲来し、農作物が被害を受けてしまうことがよくあり、人々は一つの目安として警戒を呼びかけていたようです。



また、台風21号襲来から程ない9月6日、北海道を最大震度7の大地震が襲い、土砂崩れ等で41人の方が亡くなるなど、辛く悲しいことが相次ぎました。「天災は忘れた頃にやってくる」という諺はどこにいったのでしょうか。こんなに続くことは過去にはなかったような気がします。地球が私達人類に警鐘を鳴らしているのでしょうか。不安は増すばかりです。

そんな折、台風と秋雨前線の影響を受け十分な練習ができないままに、9月15日の体育祭当日を迎えました。心配された天候も奇跡的に回復し、数年ぶりに全ての競技等が予定通り実施できました。この天候は生徒全員の熱意と思いが招いたものだと思います。

練習中、各ブロックのキーワードをよく耳にしました。赤ブロックは「不撓不屈」、青ブロックは「青春謳歌」、黄ブロックは「サンフラワー」。勝手な解釈ですが、それぞれが追求する「精神力」、「楽しさ」、「輝き」というものをよく表していたように思います。当日もそれが随所に見られ、パフォーマンスはどのブロックもキーワードを反映したレベルの高いものとなりました。

16種目に一喜一憂し、声・汗・知恵を出し切り、あっという間に終了の時を迎え、青ブロックの総合優勝で幕を閉じました。終わった時の生徒の笑顔を見てると、スローガン“想”が先輩から後輩へと繋がっていくことを確信しました。平成最後の体育祭を見事に締め括ってくれました。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査結果 ～ 課題が浮き彫りに ～

4月17日に実施された本年度の全国学力・学習状況調査（中学3年生が対象で、本年度は国語・数学・理科・生活習慣等）の結果が発表されました。和歌山県の平均正答率は、数学A以外いずれも全国平均を1～2ポイント下回りました。数学Aと国語B、3年ぶりに実施された理科については、それぞれ順位としては上がっています。

本校は、国語A（78.6）で全国（76.1）に比べ+2.5、国語B（58.1）は全国（61.2）より-3.1、数学A（75.7）は全国（66.1）より+9.6、数学B（51.9）は全国（46.9）より+5.0、理科（66.4）は全国（66.1）より+0.3となっています。国語Bの解答内容を見れば、正答条件を十分に満たしていないものが多く、目的に応じて文章を読み取ることや、必要な内容を整理して書くことに課題が見られます。これらの改善を中心に個に応じた指導を工夫し、確かな学力の定着に努めていきたいと考えています。

生徒質問紙からは、就寝・起床時刻が不確定、家庭学習が無計画、読書量・時間が少量などの課題が目につき、学力を伸ばすためにも継続的な取組が必要と捉えています。ご家庭の協力を得ながら徐々に改善していきたいと考えています。

㊦ Aは主に知識、Bは主に活用、理科はA・Bの区別無し

## 先生達も頑張っています ～ 田中順貴先生と吉村沙紀先生が黒沢牧場で研修 ～

8月6、7日の両日、本校の2人の先生が海南市上谷の黒沢牧場で社会体験研修を行いました。これは、地域の産業や行事等への理解を深め視野を広げ、教員としての資質能力を高める目的で、採用2年目の教員を対象に行われるもので、亀川中学校では、毎年、黒沢牧場でお世話になっています。研修を終えた田中先生の感想を一部紹介します。

厩舎の掃除、牛馬の餌やり、牧場内の草刈りを行い、酪農現場のほんの一端を見せていただき、生命尊重の精神、食育の大切さについて学ばせていただきました。普段、自分たちが当たり前のように口にする乳製品の元となる乳牛の世話をを行うことで動物との繋がり、自然との共生を改めて感じました。酪農家の方との話の中で「牧場の中で自然に出産するため、出産が近くなると気を配る必要がある」という言葉があり、四六時中気を配らなければならない大変さを考えさせられ、自分も教職員として常に生徒のことを尊重し、考え向き合う必要があると思いました。

食品を扱う場であるだけに、衛生面での配慮は非常に印象的でした。関係者以外の立入禁止区域を設けることはもちろん、使用した用具の清掃、手洗い等を徹底して行う姿勢はとてもしっかりと行っていました。“物を大切に扱う、清潔に保つ”、“行い続け、習慣化する”という意識をもつことは大切なことであり、生徒と自分も含め、凡事徹底、当たり前のことをきちんと行い続けていく姿勢を育てていきたいと思いました。

今後、教職員としての職務にあたる上で、生徒たちと共に食への感謝を常に考えて指導を行っていききたいと思っています。

（一部抜粋）



記：熊代

# 夏休みの宿題「標語」の優秀作品を紹介します

## 「いじめ防止」に関する標語

1 A 東村 颯太  
大丈夫？ その言葉に 救われる

2 A 宮崎 采  
いじめっこ ほんとは一番 弱虫だ

2 A 北山 晴香  
築き上げる やさしい心の 山々を

3 A 野田 桂都  
気をつけて いじりといじめの 境界線

3 B 板橋 幸平  
後悔と 心の傷は 永遠に

## 「ネット利用」に関する標語

1 A 三橋 杏菜  
スマホ見て 友だちの顔 見えてるの？

1 B 箕島 莉紗  
顔出さず 指先ひとつで 傷つける

2 B 堀内 さや  
スマホより 友との時間 大切に

2 B 芝 萌亜那  
画面には 写っていない 裏の顔

3 A 島 彪真  
永遠に 消えることない おそろしさ

## 親子協働作業



親子協働作業（9月1日）では、早朝からたくさんの保護者の皆様に参加いただき、ありがとうございました。日々、生徒たちの清掃活動ではできない所の草刈りや樹木の剪定をしていただきました。お陰様で、隅々まできれいになりました。

## 幼小中・警察合同避難訓練

今年10月31日（水）

広く津波対策についての理解と関心を深めることを目的として、11月5日が「津波防災の日」と定められています。これは、濱口梧陵の「稲むらの火」の逸話に由来しています。

県内全域で11月1日（木）に避難訓練を実施し、地震・津波に対する防災意識の高揚を図ります。

本校では、平成27年度から合同の避難訓練を実施しています。



[昨年度の合同避難訓練]

## 10月の行事予定

- 1日（月）到達度テスト③
- 2日（火）スクールカウンセラー来校
- 4日（木）スクールカウンセラー来校
- 5日（金）中間テスト発表  
県統一英研
- 6日（日）地方新人大会 ～8日（祝）
- 15日（月）中間テスト①
- 16日（火）中間テスト②
- 17日（水）県到達度調査 1・2年生  
薬物乱用防止教室  
スクールカウンセラー来校
- 19日（金）スクールカウンセラー来校
- 21日（日）市Pソフトバレーボール大会（異中）
- 27日（土）公民館 文化祭
- 28日（日）公民館 文化祭
- 30日（火）地方英語発表会
- 31日（水）幼小中・警察合同避難訓練  
小六体験入学

## 授業参観とふれあい講演会

11月19日（月）

授業参観 13時30分～

教科・教室は後日連絡いたします。

講演会 14時50分～

会場：亀川中学校 体育館

講師：土田 淳子氏

橋本市社会教育委員会議長

橋本市共育コミュニティコーディネーター

演題：「共育コーディネーターからみえる  
コミュニティスクールの可能性」

【仮題】

コミュニティスクールは、学校

と保護者や地域の皆さんがとも

に知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える学校です。

これからの学校「コミュニティスクール」についてお話ししていただきます。

